

(参考) ジェネリック医薬品に切替えた場合の自己負担軽減額の通知について

ジェネリック医薬品(後発医薬品)については、患者負担の軽減や医療保険財政に資することから、政府はもとより関係団体等の協力のもとに使用促進のための取組みが推進されており、ジェネリック医薬品に切替えた場合の自己負担の軽減額等の情報提供を以下のとおり行っています。

(1) 対象者

40歳以上の加入者のうち、ジェネリック医薬品に切り替えた場合に薬代の自己負担の軽減が一定以上見込まれる方
(ただし、あらかじめ通知を希望されない旨ご連絡いただいた方などは対象外)

(2) 通知内容

先発医薬品の処方の内容、先発医薬品からジェネリック医薬品に切り替えた場合の薬代の自己負担軽減額等

(3) 実施方法

事業所を通じて加入者の方に郵送で通知

(4) 時期

下表のとおり

22年 1月	北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、栃木
3月	新潟
4月	山梨、長野、岐阜、三重、兵庫、和歌山、岡山、広島、山口、徳島、香川
5月	富山、石川、福井、愛知、滋賀、京都、大阪、奈良、鳥取、島根、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
6月	茨城、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、静岡

通知時期は各月下旬頃

〒123-4567
□□□□□市□□区
○○○1丁目-23-45
●●ビル6F
○○○株式会社
(被保険者ご本人)ジェネリック 一郎 様
宛先:被扶養者(ご家族)ジェネリック 太郎 様

1001 0000000123 *

1001
1234567890

0000000123 ‡



全国健康保険協会 ○○支部
〒891-2345
□□□□□市□□区▲▲町1-10-10
●●●●●ビル2F

ジェネリック医薬品はこんなお薬です

効き目や安全性が実証されているお薬と主成分が同一であることなどが審査され、厚生労働省により製造・販売が承認された安価なお薬です。



なぜ
安いのですか？



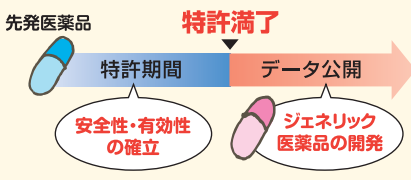
先発医薬品の開発には多額の費用がかかりますが、ジェネリック医薬品は開発期間が短く、低コストなため、価格も安くなっています。



効き目は
確かですか？



先発医薬品の特許がされた後に製造され、これまで効き目や安全性が実証されてきたお薬(先発医薬品)と主成分が同一のお薬です。



ジェネリック医薬品を処方してもらうには？

病院・診療所にて…

先生、このお薬はジェネリックに変えられますか？

はい、この薬なら変えられますよ。



または

薬局にて…

処方せんはこれですが、ジェネリックに変えられますか？

3種類のお薬が出てますね。2種はジェネリックにできますよ。



※処方せんの「変更不可」欄に医師のサインがなければ、薬局でジェネリック医薬品に変更できます。

医師・薬剤師に
相談して
みましょう！



品質確保の取組み

・独立行政法人 医薬品・医療機器総合機構の相談室では、ジェネリック医薬品の品質、有効性及び安全性等に関する電話による相談(TEL:03-3506-9457)を受け付けています。

・医薬品医療機器総合機構の相談室に寄せられた意見・質問・情報、学会等での発表、研究論文の内容、その他のジェネリック医薬品の品質に関する懸念等について国に設置された検討会で学術的な観点から検討を行っています。検討した結果はインターネットで公表されています。

- ▶ 国立医薬品食品衛生研究所 <http://www.nihs.go.jp/drug/ecqaged.html>
- ▶ (独)医薬品医療機器総合機構 http://www.info.pmda.go.jp/generic/generic_index.html

お問い合わせ先

【「お知らせ」の見方や薬剤の概要、ジェネリック医薬品に関するお問い合わせ】
フリーダイヤル 0120- - 8:30~17:15 土・日・祝日を除く

ジェネリック医薬品に切り替えた場合の 薬代の自己負担の軽減額に関するお知らせ

〇〇〇 〇〇〇 様

〇年〇月分 の薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合、
薬代の自己負担額の軽減可能額としては、

1,100円～

が見込まれます。

- 平成21年 3月分 の処方実績をもとに、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の薬代の最小の軽減額の見込み額を試算しています。100円未満は切り捨てています。
- 試算は薬代のみを対象としています。実際に医療機関や薬局へお支払いになる金額には、薬代以外の診療や薬の調剤等に要する費用が含まれています。

明 細

この明細は、平成21年 3月分 の薬の処方の実績に基づき、処方された医薬品（先発医薬品）と、主成分が同一のジェネリック医薬品に切り替えることで軽減できる自己負担額をご紹介します。

過去の処方実績（平成21年 3月分）					ジェネリック医薬品に 切り替えることで 軽減できる自己負担額 （※3）
医療機関・薬局区分	薬の単価	数量	単位	薬代（※1） （3割負担）	
先発医薬品名等（※2）					
薬局					
〇〇錠5.5mg	141.7	30.0	錠	1,270	420～
〇〇錠5.5mg	83.7	30.0	錠	750	350～
〇〇錠0.2mg	47.5	30.0	錠	1,280	410～
小計				3,300	1,180～
薬局					
〇〇錠5.5mg	83.7	30.0	錠	〇〇〇	〇〇〇～
ジェネリック処方分				〇〇〇	
小計				〇〇〇	〇〇〇～
医療機関					
〇〇錠5.5mg	141.7	30.0	錠	〇〇〇	〇〇〇～
ジェネリック処方分				〇〇〇	
小計				〇〇〇	〇〇〇～
合計				3,300	1,180～

※1 試算は薬代のみを対象としています。実際に医療機関や薬局へお支払いになる金額には、薬代以外の診療や薬の調剤等に要する費用が含まれています。医薬品の価格が下がっても、処方せん料などの有無により、医薬品関係の支払い金額は先発医薬品使用時と変わらないか、上がることもあります。また、国や市町村から医療費助成を受けている場合には、実際の支払金額と異なる場合があります。

※2 本明細に記載している先発医薬品には、短期処方の薬や、がんその他特定の疾病に使用される薬などは除外されています。

※3 ジェネリック医薬品は1つの先発医薬品に対して複数存在する場合があるため、実際の軽減額にも幅がありますので目安としてご参考ください。

注1 本明細は、医療機関・薬局から請求のあったデータに基づいて作成しています。多くの薬を処方されている場合は軽減できる金額が大きいものから順に記載しており、本明細に記載しきれない場合があります。

注2 先発医薬品とジェネリック医薬品とは主成分が同一ですが、使用できる病気（効能）が異なるなどの理由で切り替えることができない場合があります。また、全ての先発医薬品にジェネリック医薬品があるわけではありません。

注3 同じ医薬品（先発医薬品やジェネリック医薬品）であっても、個人によって効き方や副作用などは異なる場合がありますので、医薬品に関する詳しい内容は医師または薬局の薬剤師にご相談ください。